

兵庫県保険医協会第42回尼崎支部総会 市民公開企画

ジェネリックを正しく理解しよう!

今年の総会記念企画は、ジェネリック医薬品をテーマとした市民公開講演会です。

武庫川女子大学薬学部臨床製剤学講座教授の内田享弘先生から“ジェネリックとはどのようなものか”をお話いただき、開業医や医療従事者、市民の方々と交えて意見交換をしたいと思います。

医療費抑制の一環として利用が促進されているジェネリック医薬品について検証します。総会と合わせ、懇親会にもぜひご参加ください。



日時：**7月20日(土) 15:00～17:00**

会場：**サンシビック尼崎・中央地区会館 大会議室** (電話06-6413-8171)

○講演「**ジェネリックと先発品の同等性について**」

講師：**内田 享弘 先生** (武庫川女子大学薬学部・臨床製剤学講座教授)

○開業医へのジェネリックに関するアンケート結果報告

参加費：**無料** ※終了後、懇親会を開催します

お問い合わせ：TEL 078-393-1801 協会まで

参加お申し込み (FAX 返信：078-393-1802) *切り取らずにそのまま FAX してください

■**総会議事 (14:30～14:55 小会議室)**

出席 欠席 (**議事的一切を議長に委任します**)

■**記念企画 (15:00～17:00 大会議室)**

出席 (人) 欠席

■**懇親会 (17:10～ 小会議室)**

出席 欠席

医療機関名 ()

ご氏名 ()

兵庫県保険医協会

尼崎支部ニュース

345号

2013年6月25日付

〒660-0055 尼崎市稲葉元町2-11-10 八木クリニック内
兵庫県保険医協会尼崎支部 TEL06-6417-6600 FAX06-6417-6011

金楽寺住宅健康教室

夏に向けて食中毒に注意しよう

支部で震災対策として取り組む、金楽寺復興住宅での健康教室を5月14日に開催。「夏に向けて食中毒に注意しよう」をテーマに、八木クリニック(稲葉元町)院長の八木秀満支部長が講師を務め、18人が参加した。

はじめに八木先生は、これまでに日本で起こった大きな食中毒のケースや、月別では8月が最も発生が多いことを紹介。また、食中毒には感染型・毒素型・中間型という3つのタイプがあり、加熱が有効なのは感染型と中間型であることを説明した。

原因となるものの中でも、腸炎ビブリオ、サルモネラ菌、病原性大腸菌、カンピロバクター、ボツリヌス菌を重要なものとして詳しく解説した。

対策には、宇宙食の安全性についてのHACCPの考え方が有効として、食中毒予防の三原則である、①付けない、②増やさない、③殺すを、調理では、①清潔、②迅速、③加熱・冷却として実践していくことが重要であると強調した。特に、「きれい」と「清潔」の違いや、原因菌が増殖する至適温度を一気に通過するように加熱・冷却することが必要で、みそ汁などは風味は落ちても沸騰させなければならないことなど、具体的な食中毒予防法を解説した。



実例を交えて解説する八木先生

県立塚口病院の充実と尼崎市及び阪神地域の医療を考える会(県塚の会)

県立塚口病院跡地への医療機関誘致署名を県に提出

5月30日、県立塚口病院の充実と尼崎市及び阪神地域の医療を考える会(県塚の会)は兵庫県病院局に対し、署名の提出と要望の申し入れを行い、徳田事務局長はじめ12名が、約1時間にわたり懇談した。同局からは、病院事業管理者西村隆一郎氏と、同副管理者岡本周治氏らが出席した。

今回提出した署名は、県立塚口病院跡地に医療機関誘致を求める要望書。昨年10月6日の同会第5回総会で提案されて以来取り組まれてきたもので、当日までに4272筆の署名が寄せられた。

西村氏は、尼崎市でも市医師会から同様の要請を受けたことや、尼崎地域病床の利用について総合的に考えていく予定であることを説明。岡本氏は、医療空白になるとは言えないとする一方、住民に不安感があることは承知しているとも述べた。

後送病院の必要性について重ねて要望すると、岡本氏は、後送病院の必要性は認識しているとし、参加者は県として医療機関誘致実現に向けリードしてほしいと訴えた。

職員接遇研修会 感想文紹介

相手の立場にたって対応を

支部では5月25日に、大手前短期大学教授の水原先生をお迎えし、「接遇の基礎とクレーム対応」をテーマに恒例の職員接遇研修会を開催。新人から勤続20年以上のベテランまで37人が参加した。

水原先生は、「接遇で重要なことは場にあった接遇を行うことであり、医療機関においては『笑顔でやさしく、一言多く』が基本」とアドバイス。参加者全員でロールプレイをしながら相手の立場にたった接遇を楽しく学んだ。以下、参加者の感想を一部紹介する。

● 最初は、はずかしさの方が大きく内心ドキドキしていましたが、実際にしてみると、相手の立場を考える良いきっかけになりました。初対面の方とも楽しくコミュニケーションを取ることができました。やはり、聞く側も聞いてもらう側も相手に気持ちに向けて会話をする事が大切だと感じました。

● 接遇の基礎的なことからクレーム対応まで、実践を加えながら学ぶことができ勉強になりました。実際に活かせるよう心がけたい。

- 「クレームの三原則」と「病院のファンになって頂く」ことがとても勉強になりました。
- 先生の笑顔がステキでした。経験が浅いので勉強になりました。
- スタッフ内でのイメージ作りが難しい。一人一人はできてもどう広めていくのか考えさせられます。
- 挨拶や笑顔、謙虚さを改めて認識しました。
- 話の長い患者さんの話を途中で切る事ができず苦勞しています。
- 電話中に患者さんが来られた時や患者さんの対応中に電話が鳴った時、正しい対応法について知りたいです。(水原先生の回答：目の前の患者さんを優先し、電話は後でかけ直すなどの対応をとる)
- 予約を待たされる患者さんへの対応など勉強になった。
- 日頃から患者さんへの朝の挨拶に一言を必ずつけるように心がけています。自然とコミュニケーションが取りやすいと思っていましたが、今日の研修で再確認できて良かったです。
- 日頃何気なく患者さんに接していることを改めて反省した。来院された患者さんに、少しでも心身共に元気になって帰っていただきたいと思います。
- 自分だけでなくスタッフと一緒により良くなる点を考えて、変えていける所があると感じました。



参加者同士のロールプレイにも挑戦した

アスベスト被害 法律・医療・労災相談会のお知らせ

アスベスト被害に関する法律・医療・労災など、不安や心配をお持ちの方の相談に応じます。弁護士、医療関係者、専門家が相談にお答えします(秘密厳守、無料です)。

患者さんなどにご案内ください。

- ① 7月27日(土)午前10時～午後4時 小田公民館(JR尼崎駅北徒歩5分)
- ② 9月1日(日)午前10時～午後4時 小田地区会館(JR尼崎駅南徒歩5分)

※お急ぎの方や、当日都合がつかない場合は、「アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会」にご相談ください。 TEL・FAX 06-6489-2600

協会尼崎支部役員・協会評議員選挙の公示

【役職と定数】

支部長	1人	県協会評議員	8人
副支部長	若干名	県協会予備評議員	4人
幹事	若干名		

【任期】

2年

【改選日時】

7月20日(土)14時30分 尼崎支部第42回総会
(会場:サンシビック尼崎・中央地区会館小会議室)

【立候補日時締切】

7月13日(土)正午

【立候補届出の方法】

立候補希望者・推薦希望者は、協会事務局までお申出ください。用紙をお届けします。「立候補届」「推薦届」に必要事項を記入の上、事務局へ持参または郵送ください。なお、歯科については歯科部会で選出します。

第473回幹事会だより

5月24日(金)於 阪急武庫之荘「千石寿司」 参加:8人

- 尼崎支部の会員数と組織率
5/23現在 医科382人、歯科139人
- 医療をめぐる情勢と運動対策
知事選、支部総会の企画、文化企画、日常診の特産品などについて意見交換した。
- 当面の支部活動
7月20日支部総会など
- 次回の幹事会
次回は6月28日JR立花「味良久」で開催。

お問い合わせはTEL 078-393-1805 長澤まで